

シャープ通信

2023年7月 vol.36

「シャープの今」をお届けします。

CEOオフィス 広報担当

2023年 3月期決算を発表

5月11日(木)、当社は堺本社多目的ホールにて、2022年度の決算説明会を実施しました。



(左から)CFOのブランデンさん、CEOのロバートさん、副社長の沖津さん

2022年度の売上高は、ディスプレイデバイスを除く4セグメントが伸長し、前年を上回りました。一方、営業利益、経常利益は、円安やディスプレイ事業の不振の影響が大きく、2015年度以来の赤字となりました。また、最終利益につきましては、ディスプレイデバイスに関連する減損損失など、一過性の費用を計上したことから、2,608億円の赤字となっております。

2023年度は、最重点目標として最終利益の黒字化に取り組むとともに、中長期的な事業の拡大に向け、新規事業の早期具体化や事業変革の加速、ブランド事業を主軸とした事業構造の構築を進めていきます。

ブランド事業(スマートライフ、8Kエコシステム、ICT)の売上高は前年度比 3.6%増の 1兆3,864億円、デバイス事業(ディスプレイデバイス、エレクトロニックデバイス)は同 1.7%減の 1兆2,355億円、全社合計では同2.1%増の 2兆5,481億円(連結調整含む)となりました。

【各セグメントの概況】

スマートライフの売上高は前年度比 5.1%増の4,687億円となりました。白物家電は、下期以降、世界各地で市況悪化の影響を受けましたが、欧米の調理家電や国内のドラム洗などが好調でした。8Kエコシステムは、ビジネスソリューション事業が前年比で10%を超える増収となったほか、MFP事業、スマートオフィス事業やインフォメーションディスプレイが欧米を中心に売上を伸ばし、同 4.3%増の 5,918億円となりました。ICTの売上高は、スマートフォンのラインアップ展開を強化し、ハイエンドモデルの販売が増加したことなどにより、同 0.6%増の 3,258億円となりました。ディスプレイデバイスは、車載向けパネルなどは大きく伸長しましたが、市況の低迷によりスマートフォン向けやPC向けのパネルが減少し、同 11.6%減の 7,599億円となりました。エレクトロニックデバイスの売上高は、顧客の2022年用モデル用デバイスの販売が堅調だったことから、同 19.8%増の4,755億円となりました。

当社は昨年来、ESGに重点を置いた経営方針の下、HITOを活かす経営、グローバルマインドの醸成、技術力のさらなる強化を進めてきました。今年度も非常に厳しい事業環境が継続する見通しにありますが、これらの取り組みをベースとしつつ、全社をあげて開源節流※を徹底し、年間黒字を必達してまいります。

※ 「開源節流」とは、健全な財政を川の流れに例えた言葉で、「開源」とは水源を開発すること、即ち、新たな事業を創出し売上を伸ばすことを意味し、「節流」とは水の流れる量をしっかりと調節すること、即ち、ムダを撲滅することを意味します。

AV専門誌「HiVi」主催「2023 夏のベストバイ」で、『AQUOS XLED』<8T-C85DX1／4T-C65EP1／4T-C55EP1>、『AQUOS』<4T-C50FN2>の4機種が1位を獲得



▲直視型ディスプレイ部門3(液晶、61型以上70型以下)で1位に選ばれた
4Kテレビ『AQUOS XLED』<4T-C65EP1>

株式会社ステレオサウンドが発行する有力AV専門誌「HiVi(ハイヴィ)」主催の「2023 夏のベストバイ」において、直視型ディスプレイ部門1(液晶、50型以下)で4K液晶テレビ『AQUOS』<4T-C50FN2>、同部門2(液晶、51型以上60型以下)で4Kテレビ『AQUOS XLED』<4T-C55EP1>、同部門3(液晶、61型以上70型以下)で4Kテレビ『AQUOS XLED』<4T-C65EP1>、同部門4(液晶、71型以上)で8Kテレビ『AQUOS XLED』<8T-C85DX1>の4機種が1位を獲得しました。

「2023 夏のベストバイ」は、現在市場に流通しているAV製品をジャンル／価格帯別に分類して本当のお買い得(ベストバイ)モデルを選出するものです。ディスプレイ部門の選考は、「HiVi」をはじめとする各種AV媒体で活躍中の評論家の方々の投票によって行われました。

「AQUOS XLED キャッシュバックキャンペーン」と 「夏目前！節電・節水応援キャンペーン」を実施中



当社は、本年9月15日(金)に創業111周年を迎えるにあたり、これまでの皆様からのご支援に感謝し、2つのキャンペーンを実施中です。

1つ目の「AQUOS XLED キャッシュバックキャンペーン」は、mini LED バックライトを搭載したテレビのフラッグシップモデル『AQUOS XLED』<EP1／DX1ライン>の対象機種を7月31日(月)までにご購入のお客様にご応募いただけます。2つ目の「夏目前！節電・節水応援キャンペーン」では、7月31日(月)までに、プラズマクラスター冷蔵庫、ファン式冷凍庫、プラズマクラスターエアコン、プラズマクラスター洗濯乾燥機、「穴なし槽シリーズ」洗濯乾燥機、全自動洗濯機の対象機種をご購入いただいたお客様が対象です。

対象機種やキャンペーンの詳細は以下のURLをご覧ください。

- ・「AQUOS XLED キャッシュバックキャンペーン」→ <https://jp.sharp/xled-cbcp23A/>
- ・「夏目前！節電・節水応援キャンペーン」→ <https://jp.sharp/setsudenCP111/>

4K液晶テレビ『AQUOS』3ライン9機種を発売



▲ 左から：4K液晶テレビ＜4T-C55FN2、4T-C65FN1、4T-C50FL1＞

当社は、AIを活用してコンテンツに適した画質や音質に自動で調整する4K液晶テレビ『AQUOS』3ライン＜FN1／FN2／FL1ライン＞計9機種を6月10日発売しました（4T-C50FL1のみ9月16日発売予定）。75V型から42V型までをラインアップ。設置場所や視聴スタイルに合わせてお選びいただけます。

■ 主な特長

1. AIプロセッサーを採用した新画像処理エンジン「Medalist S4」搭載。AIが人の顔や空などを検知し、番組のジャンルと合わせて、画質や音質を自動で調整する「AIオート」モード
2. 高コントラストを実現する直下型LEDの分割駆動「アクティブLED駆動」＜FN1ライン＞
3. 歩数や心拍数、体重、血圧などの変化をわかりやすくグラフで表示する新アプリ「AQUOSヘルスビューアー」を搭載。スマートウォッチや体重計、血圧計などの対応機器※と連携し、各機器が測定した歩数や心拍数、体重、血圧や日々の変化を、テレビの大画面にグラフでわかりやすく表示します。

※ Google LLC が運営する健康管理アプリ「Google Fit TM」に対応した機器との連携が可能です。
アプリに診断機能はありません。

『AQUOS サウンドパートナー』＜AN-SS3＞＜AN-SX8＞を発売



▲ 『AQUOS サウンドパートナー』＜AN-SX8＞（左）と＜AN-SS3＞
＜AN-SS3＞の上段左：B（ブラック）、上段右：W（ホワイト）、下段左：A（ブルー）、下段右：P（ピンク）

当社は、映画や音楽などの臨場感あふれる立体音響が手軽に楽しめるウェアラブルネックスピーカー『AQUOS サウンドパートナー』＜AN-SX8＞と、テレビ視聴やWeb会議など、幅広いシーンで活用できるウェアラブルネックスピーカー『AQUOS サウンドパートナー』＜AN-SS3＞を7月22日に発売します。

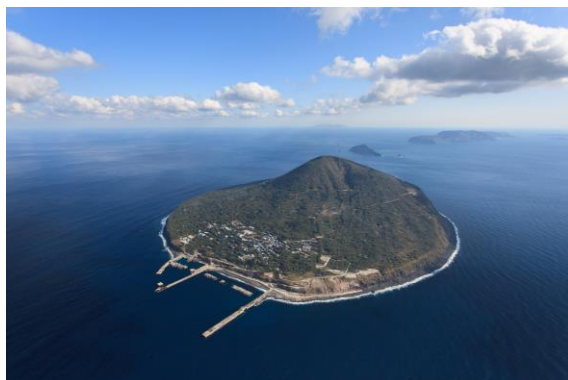
＜AN-SX8＞は、立体音響技術「OPSODIS®（オブソーディス）※1」をAQUOSサウンドパートナーとして初めて搭載。再生する音声データ※2を、前後・左右・上下から包み込まれるような立体的な音に変換します。＜AN-SS3＞は、約88gの軽量設計と連続約16時間※3の再生が可能で、長時間快適にお使いいただけます。また、当社補聴器の音声調整技術を活用した「クリアボイスプラス」機能により、人の声がよりくっきりと聴こえるようになりました。

※1 鹿島建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：天野裕正、以下 鹿島建設）の技術研究所と、英国サウサンプトン大学（所在：英国サウサンプトン市、President and Vice-Chancellor: Professor Mark E. Smith）の音響振動研究所が共同開発した立体音響技術です。

※2 「OPSODIS」は、HDMIまたは光デジタル音声ケーブルから送信機に音声データを入力した場合にのみ対応しています。

※3 周囲の温度や使用される状態により、時間が異なる場合があります。

耳あな型補聴器※1「メディカルリスニングプラグ」を活用した 島しょ部※2における難聴者支援の実証研究を利島で実施



▲左：メディカルリスニングプラグ＜MH-L1-B＞、右：東京都利島

当社は、独立行政法人 国立病院機構東京医療センター、神奈川工科大学、東京都島しょ部の利島（としま）村役場および社会福祉法人 利島村社会福祉協議会と共同で、利島村在住の軽度・中等度難聴者の協力を仰ぎ、当社耳あな型補聴器「メディカルリスニングプラグ」を活用したオンラインフィッティングの有用性を検証する実証研究を本年6月16日より開始しました。一般的な補聴器を使用する際、必要なときにすぐに調整やサポートを受けるのが困難な、島しょ部における難聴者支援の効果を確認してまいります。

※1 製造販売業者：株式会社ニューロシューティカルズ。医療機器認証番号 303AFBZX00058000。

※2 ここでの「島しょ部」は、国内の本州・北海道・四国・九州・沖縄本島を除く島々としています。

超音波ウォッシャー＜UW-X1＞を発売



▲左：超音波ウォッシャー＜UW-X1＞、右：使用イメージ

シャープは、丸洗いしにくい衣類や布製品の部分汚れを超音波ですばやく落とせ※1、衣類の黄ばみなども衣料用漂白剤との併用で洗浄※2できる超音波ウォッシャー＜UW-X1＞を7月14日に発売します。

■ 主な特長

1. 丸洗いしにくい衣類や布製品の部分汚れを、毎秒約38,000回の超音波振動で発生させた、真空の泡が弾ける強力なパワーで汚れを弾き飛ばし、すばやく洗浄
2. 衣料用漂白剤との併用により、落としづらかった衣類の黄ばみなどの汚れにも対応
3. 汚れ落ちスピードが当社従来機比で約25%向上※3。約45秒でワイシャツの襟汚れを洗浄

※1 衣類の素材、汚れや洗剤/漂白剤の有無によって洗浄効果が異なります。染料により染まったもの、接着剤や有機溶剤などで固着したもの（塗料、油性ペン、墨汁、ヘアカラー、マニキュア、インク、染料など）は落ちません。

※2 衣料用漂白剤（酸素系）を使用。衣類の素材、衣料用漂白剤（酸素系）の種類、黄ばみの程度によって洗浄効果が異なります。塩素系漂白剤は使用できません。

※3 当社実験によるワイシャツの襟汚れの洗浄スピード（液体洗剤使用）を比較。当社2018年度モデル＜UW-A2＞約60秒。

★ WEB社内報をご覧くださいませ！！

URL： <https://blog.sharp.co.jp/family/>

または、こちらのQRコードからアクセスしてみてください！！ →

